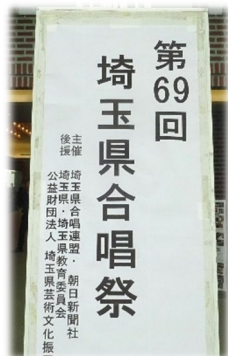


# 19 彩の国プラチナ特別編成合唱団

ちえじゆ  
**済州国際合唱祭を埼玉県合唱祭で再演**

SAI-NO-KUNI PLATINUM SPECIAL CHORUS

実行委員会 令和6年(2024)6月27日



彩の国プラチナ特別編成合唱団は、今年2月韓国・済州国際合唱祭に出演しましたが、日本でも再演したいと再結集し、第69回埼玉県合唱祭・第4日2部(熊谷文化創造館さくらめいと)に出演しました。

4か月前に済州で本番を迎えているので、埼玉県合唱祭出演に向けてきほどの練習はいらないため、事前練習は2回で本番に臨みました。衣装は済州国際合唱祭のランチタイムコンサートで着た赤い「たまりんTシャツ」でした。



講師の田中達也先生は講評で、「信じる」は冒頭のユニゾン「信じることで…」で高揚するハーモニーなど、みなさんの歌を存分に感じ取ることができたと仰ってくださいました。とくにアルトの発語がクリアで、ハーモニーのクリアさに一役買っていると絶賛されました。

2曲目の「ふるさと2022 Ver.」は和声がりケットなところも多いアレンジにも係わらず練度高く歌い、レガートの表現が素晴らしいとお褒めの言葉をいただきました。



組い画像で失礼!

9. 彩の国プラチナ特別編成合唱団 (混・18)  
 (さいたま市)

指揮：南 めぐみ/ピアノ：草間 葉月

信じる  
 ふるさと 2022 ver.

谷川俊太郎 作詩/松下 耕 作曲  
 高野辰之 作詩/岡野貞一 作曲/信長貴富 編曲

♪今年2月、韓国開催の「第8回済州国際合唱祭」で演奏するために結成されました。海外の素晴らしい合唱に大いに刺激を受けたその感動と、再演できる喜びを胸に歌います。

また、埼玉県合唱連盟独自の企画として、聴いていただいた他団体の方が感想や評価を述べる「いいねカード」もたくさん寄せられました。

- 「ふるさと2022 Ver.」 言葉が国境を越えても日本の音楽の素晴らしさを感じさせてくれた演奏に感動しました。
- 男声、女声のバランスがとても良く聴きやすく、深い響きがきれいだった。
- 各パートの声が一つにまとまってハーモニーが美しかったです。韓国語の歌詞が良かったです。
- 力強い歌い方でまとまっていた。「ふるさと」のハーモニーが素敵！ 韓国語が良かった！
- ソプラノの深みのある発声が大人の女性だなあと♥とてもステキでした。「信じる」は人数が倍いるような歌声が飛んできて迫力がありました。まとまり感よかったです。ブラボー！
- ソプラノ いいね！、メンズもいいね！
- 声量がすごいです。演出も素敵で引き込まれました。
- 赤のユニフォーム、声とハーモニーがいいですね。
- 「信じる」は私が大好きな曲なので、歌って下さって嬉しいのと、女声、男声のハーモニーが素敵でした。「ふるさと」は私も歌ってきた曲なので、強弱や気持ちの込め方を参考にしたいです。
- 響きのある歌声で表現力もある演奏でした。
- 「私は信じる」が心に響きました。透き通った各パートの声がはっきり聴こえ勉強になりました。声に伸びがあり、ハーモニーは最高です。韓国語ですね。心温まりました。国際合唱祭お疲れ様でした。埼玉代表素晴らしいです。
- ハーモニーがとても美しく、歌詞も気持ちを込めて大切に歌っているのがよく伝わってきました。
- 「信じる」は優しさの中に確かな熱が込められていて、言葉一つひとつに命が吹き込まれていました。「ふるさと」は韓国語で歌われているということで、言葉はちがえど人は皆つながっているということを伝えられた気がしました。

この日の2部には済州組のメンバーがそれぞれ所属する合唱団でも出演していました。男声合唱団コール・グランツ：加藤良一、コーラル・ソシア：南めぐみ、早瀬廣絵、新妻直子、山中由香、森川真弓、Il Campanile：宇佐美平和、T friends：南めぐみ、池田裕子、宇佐美平和。

済州組のメンバーが集まって歌う機会はこれが最後かも知れませんが、これからも交友の輪が広がることを期待しています。



全体合唱 開会式：埼玉県合唱連盟歌「太陽のように」、閉会式：「日々あたらしく」





彩の国プラチナ特別編成合唱団を  
支えてくれたピアニスト 柴間葉月さん



たまりんグッズ販売に余念が  
ない事務局、小泉絵美さん



また会え日まで！

第8回済州国際合唱祭参加 彩の国プラチナ特別編成合唱団実行委員会  
江川善裕(代表幹事)、南めぐみ(芸術監督)、森川真弓(総務)、加藤良一(広報)

Back

Home

彩の国プラチナ混声合唱団TOPへ

HOME PAGEへ